

竹機密第七番電三閱シ我ノ強硬ナル態度ヲ現實ニ示ス  
伊要アル場合其ノ時期ニ就テハ來二月一日極貴地ニ入港  
頃ヲ適當ト認ム其ノ際要スレバ第二十七驅逐隊第一小隊  
ヲモ貴地ニ派遣セシメラル豫定

一月二十九日(金)正午天候晴氣壓七七。氣温一六風向南西風力一

一。六五。 菱莖入港  
。七。 司令菱訪問警備ニ関スル申継ヲナス  
。九。二 司令官乗艦

。九。一 永續ヨリ訪問使來訪

二 訓練作業 司令官司令領事館訪問陸上視察  
船体兵器機関手入

三 在泊外國艦船 永續  
情況

四 不敬記事問題ニ對スル林司令ヨリ公文受領、本日正  
午林司令代理ハ今次不敬記事問題ニ関スル昨日、約是  
通リ、公文ヲ領事館ニ持參領事ハ之ヲ受領セリ原文左  
如シ

逕啓者關於  
責領事一月二十七日下午六時來部所提厦門商報並氏國日

報登載不敬記事一節倣司令對於茲事殊為遺憾現据  
 厦門商報聲明當時轉載韓國獨立黨宣言係編輯部  
 辦事疏忽業將該編輯員陳幹侯卸去職務並停刊三天  
 登報道歉至民國日報已於本日起責令停刊俟履行取  
 銷該項記事及登報表示遺憾將何英編輯員卸去職  
 務之時止始能復刊至其他各報已切囑對於此項不得再  
 有議論及保障此今不至再有登載此種不敬記事統布  
 查照為荷此致

駐厦日本領事三浦

林國慶團一月十九日

領事館報依レバ民國日報八林司令命ニ從ハガレヲ以テ公安  
 局ハ昨夜ヨリ巡警數名ヲ以テ印刷所ヲ監視セシメ依テ民國  
 日報ハ本日發行不能ニ陥レリト言フ

二市内平穩

五

發電

樞善士番電厦門情報(二十九日樞)宛馬要司令官北上艦長  
 本日正午林司令代理ハ昨日約定通り公文ヲ領事館ニ持參  
 領事ハ之ヲ受領セリ

六

著電

馬要機密八十七番電二十九日午後九時(奉馬要參謀長)  
 上海事變ノ狀況一般支那人間ニ明ラクトナルニ從テ其反響

トシテ意外ノ事變勃發スルヤモ計ラレズ此際一層警戒ヲ  
敷ニシ狀況報告等機ヲ失セザル様特ニ注意アリ度  
一月三十日(土)正午天候晴氣壓七六七氣温二一風向北東風力二

一 汕頭ニ向ケ廈門發  
二 訓練作業 半艇運動上陸 船体兵器機關手入

三 在泊外國艦船 永績  
本港準備

四 着 電

(1) 馬要機密九十一番電三十日午後五時(發馬要司令官)

馬要機密七十番電中權公廈門發ヲ三十日ニ改ム

(2) 馬要機密九十一番電三十日午後三時(發馬要參謀長)

浦江水先人ニ関シ豫メ嵯峨艦長ニ依頼シ置キタルモ  
細項ニ関シテハ直接同艦長ト打合セラレ度シ

五 發 電

極善十二番電廈門情報(三十日極)(宛馬要司令官)

本日ノ各漢字紙ハ上海事件ヲ誇大的ニ掲載シ又午前

十時頃ヨリ市内各所ニ戰報ヲ揭示シ初メタリ内容ハ何

レモ新聞所報ト同ジク日軍全滅日本陸戰隊本部

占領飛行機四基射落裝甲自動車四台捕獲日軍

死傷十ヲ越ス吳淞砲台八日艦ノ射撃ヲ受ケタルモ之ヲ

擊退セリ等大戰勝トシテ傳へ人心ヲ煽リツアリ一方當  
 地各新聞ハ不敬事件ニ就キ官憲ノ兩新聞停刊ニ  
 反對ノ旨ヲ掲載シ各方面ニ運動ヲ試ミツアル如クナリ  
 本運動ハ無論一蹴サル、モト想像セラル、モ前部兩部  
 事ハ一般人民ニ相當ノ衝動ヲ與フルモト觀測セラレ茲數  
 日間ハ此等或行キニ就ヤ監視警戒ヲ要スルモト認メ  
 ラル

(終)

馬要機密第一ノ二ノ辨

二月十二日進

副官

馬要機密第一ノ二ノ辨  
官部公  
印司要

官  
馬  
要  
機  
密  
第  
一  
ノ  
二  
ノ  
辨

軍務局



第一課長 局員



第五驅逐隊竹汕頭敬言備報告

(昭和七年自一月十四日至一月三十日)

馬要機密  
7.2.15  
受控

7.2.15  
月 日

# 第二十五驅逐隊竹汕頭敬言備報告

## (一) 出勤命令

一月十三日馬公要港部司令官ヨリ左ノ命令(機密馬公要港部命令第一二號)ヲ受領ス

### 馬公要港部命令

- 一 竹八十四日馬公發汕頭ノ敬言備ニ任ズベシ
- 二 梨八十五日汕頭發高雄ニ於テ燃料補給上十八日午前八時半同地發同日午後二時馬公ニ歸港スベシ
- 三 北上六十七日馬公發十八日朝迄ニ馬公ニ歸港スベシ

## (二) 敬言備日誌

(昭和七年一月計四日)

- 一月十四日(木)正午天候半晴氣圧七七・二四氣温七・五風向北東風力一・米
- 一・一九三五 汕頭ニ向ケ馬公發
- 二 訓練作業 出港諸作業、船体兵器等ノ入機関操縦訓練
- 一月十五日(金)正午天候晴氣圧七七・一六氣温一八・〇風向北西風力一・米
- 一・〇九二〇 汕頭着双錨泊第一錨(日本領事館前)南二四度東八七・〇米
- 一・〇九四〇 米驅 MacLennan (SS)ト訪問使交換
- 一・〇一五〇 領事代理及在留有力者來訪
- 一・二〇〇〇 梨出港

一三一五

一月四日陸海軍人賜ハリタル勅語奉讀並ニ海軍大匠

一四一五

奉答文傳達  
中國特務艦福安出港  
艦長領事館訪問

二訓練作業

入港諸作業被服洗濯、船体兵券午入、機関操縦訓練

三在港外國軍艦

*MVC* *Shan (220)* 福安

四情况

(一) 學生聯合會ハ來ル十八日抗日救國示威大遊行ヲ行フコトニ決定セリ

(二) 冬期休暇ヲ利用シ商業學校内ニ日本品展覽會ヲ催スト云フ

一月十六日(土)正午天候晴氣圧七七三六氣温一八〇風向東風力一米

一訓練作業 大掃除防火教練、船体兵器機関午入

二在港外國軍艦 *MVC* *Shan (220)* 米

三情况 市内平穩

一月十七日(日)正午天候晴氣圧七七三六氣温一四五風向東風力二米

一訓練作業 体育、休業

二在港外國軍艦 同前

三情况 市内平穩

四着電

馬要機密第五九番電(發參謀長)

一、第二十七驅逐隊第一小隊八本月下旬北上福州回航後同地  
 發厦門汕頭經由二月上旬馬公ニ歸港セシメラルル豫定  
 二、廿年八厦門ニ於テ第一小隊ニ合同汕頭ニ回航引續キ同地ノ  
 敬言備ニ任セシメラルル豫定

三、第二十五驅逐隊八二月上旬厦門ニ集合セシメラルル豫定ナリ  
 一月十八日(月)正午天候晴氣圧七三〇ノ氣温一八〇風向東風力ニ米  
 一〇九四五 艦長分隊点検

一〇一五 艦長講話(滿蒙ニ関シ)  
 二、訓練作業 陸戦隊教練、配置教育  
 三、在港外國軍艦 同前  
 四、情况

(一) 不敬部事問題

領事代理市政府往訪去ル十二日汕報不敬部事掲載ニ対  
 シ市長代理ニ四項ヨリナル抗議文ヲ午交セリ(竹機密第五  
 番電参照)

(二) 學生ノ示威遊行會

午前十時各校學生約千人中山公園ニ集合開會終テ遊行  
 ニ移ル 午前十一時四十分頃司令部前ニ至リ無事解散  
 セリ 公安局ハ事前ニ各所ニ武装警官ヲ出動セシメ嚴  
 重敬言戒セリ



(三) 學生ノ復課問題

兼テヨリ學校當局(殊ニ私立)ハ教授連ノ引止メ及寄宿料ノ徵收ノ必要上市長各校長及各學生代表者間ニ本日ヨリ復課スヘク決定シ居タルモ別電ノ如ク有耶無耶ニ終レリ但シ學生ノ大部ハ受業ヲ望ミ居ルモ一部ノ不良分子ガ試験回避等ノ目的ヲ以テ之ニ反對シツツアルモノ如シ

五發電

竹書第三番電(死司令官)  
豫定通り本日學生示威遊行行ハレタルモ何等事故ナシ尚同盟休校ハ學校當局者ノ奔走ニ依リ本日ヨリ復歸ノ事トナリ居リシモ右遊行ノ為有耶無耶ニ終レリ

一月十九日(火)正午天候晴氣圧七三九氣温二九。風向東風力五米

- 一 訓練作業 船体兵器機関等
- 二 在港外國軍艦 同前
- 三 情況

(一) 領事代理市長ヲ往訪我抗議ニ對スル措置ヲ質シ各處目下訛報記者取調中ニ籍口ニテ極メテ不誠意ノ態度ニ出スルヲ以テ領事代理ハ之ヲ駁シ其反省ヲ促シタリト

(二) 學生約四五十人教師二分ハ汕頭學生抗日救國聯合會宣傳隊下詔セル白旗ヲ掲ケ大道演説ヲ為セリト

(三)長汀ニ在ル共匪孫連仲部隊ハ去ル十日武平古竹ニ龍巻タルモ失敗ニ終レリ豊稔市ニ於ケル閩西共産黨政府モ官軍ニ占領セラレタル為閩西地方ノ共匪ニ對スル不安稍薄ラキタリト云フ

四發電

竹機密第五番電(宛司令官)

當地汕報ハ十二日不敬事件ニ関シ非禮ノ記事ヲ掲載セル處目下市長不在ニテ近ク歸汕ノ答ナルヲ以テ昨日附

(一)汕報ノ陳謝及停刊

(二)該記者ノ處罰

(三)市長ノ陳謝

(四)今後ノ嚴重ナル取締等ヲ要求セリ

五着電

馬要機密第六四番電(發參謀長)

司令官來ル二十五日發二月九日歸着ノ豫定ヲ以テ福州厦門汕頭廣東ノ警備狀況ヲ視察セラル馬公福州間ハ北上福州厦門汕頭間ハ第二十七驅逐隊汕頭廣東馬公間ハ北上艦ノ廿二月八日以後厦門汕頭ノ警備ハ第二十七驅逐隊之ニ當リ第二十五驅逐隊ハ約一週間馬公歸港ヲ命セラル予定ナリ

一月二十日(水)正午大候晴氣圧七三・八氣温二八。風ナシ

一 訓練作業 船体兵器機関午入、半舷六寢具ヲ乾ス

二 在港外國軍艦 同前

三 情況

(一) 學生ノ復課

本日ヨリ各學校復課セリ學生ハ、頭金市學生暫行復課宣言ナル傳單ヲ撒布シ市民ニ對シ諒解ヲ得ツアリ

(二) 日貨検査延期

去ル十四日學生抗日救國聯合會ニ議決セル二十日二十一日兩日ニ亘ル各商店内日貨検査ハ學期試験及冬期休暇ノ切迫セル際市政府司令部等ノ勸告モアリ無期延期ニ決シタリト云フ

一月二十日(木)正午大候晴氣圧七三・五氣温一九。風ナシ

一 訓練作業 船体兵器機関午入、半舷寢具ヲ乾ス

二 在港外國軍艦 同前

三 情況

(一) 市内平穩

(二) 去ル十四日學生抗日救國聯合會ニテ決議ノ日貨展覽會ハ準備、都合上無期延期サレタリト云フ

月二十日(金)正午天候曇氣圧七七・〇。氣温一九・五。風向東風力一米

一〇九一。 葦入港

二訓練作業 船体兵器機関午入

三在港外國軍艦 同前

四情况 市内平穩

五發電

竹善第三番電(夜司令官)

學生ノ復校ハ昨日ヨリ實現セシモ直々ニ冬期休暇トナリシヲ以テ日貨検査學生反日大會等ノ問題モ自然實現施延期

ノ形トナレリ

月二十三日(土)正午天候半晴氣圧七七・五。氣温一八・〇。風向北風力一米

一一三五

米驅

Tracy (2/4) 入港訪問使交換

一三四〇

米驅

Moc Leiah (220) 出港

一四〇〇

艦長領事館訪問

二訓練作業

大掃除・防火教練・船体兵器機関午入

三在港外國軍艦

Moc Leiah (220) Tracy (2/4) 米

四情况

(一) 市内平穩

(二) 領事代理黃市長ヲ訪問シ汕報不敬事件ニ関シ先般通知セル四要求ノ回答ヲ求メタル處言論自由部事ハ侮辱

ヲ舎マス又所説ハ中國刑法ニ触ルル事ナク又中國内ニテ發行セ  
ルモノナルヲ以テ何等鮮人ヲ煽動スルカ如キ事ナシ等述へ要  
領ヲ得サリシト云フ

五發電

竹機密第六番電(宛司令官)

沙報不敬記事各件ニ関シテ領事代理モ市長ニ對シテ嚴重交  
渉スルコト已ニ二回ニ及ヘルモ言ヲ左右ニシテ埒明カス本件ハ向  
等カ他ノ手段ヲモ加フルニ非サレハ當地ノ土地柄ヨリ見テ要求通  
リノ解決困難ナルカ如シ

月二十四日(日)正午天候晴氣圧七七。氣温二八。風向北風力一米

一一〇〇 艦長米驅「トラシイ」訪問

一一〇一 米驅「トラシイ」艦長答訪

一五〇〇 艦長領事館訪問

二訓練作業 体育・休業

三在港外國軍艦 J. Navy (2/14) (米)

四情况 市内平穩

五着電

馬要機密第七四番電(發司令官)

沙報不敬記事各件ニ関シテハ青島、上海ノ例モアリ又將  
來先例トナル事アルヘキヲ以テ此ノ際領事代理ヲ督勵速ニ

徹底解決ヲナサシム可シ

一月二十五日(月)正午天候曇氣圧七三・八氣温一七。風向東風力一米

二四・五五

艦長領事館訪問

二訓練作業

艦内倉庫彈藥庫武器短艇兵檢  
陸戰隊教練 配置教育

三在港外國軍艦 同前

四情況

(一)黃市長ヨリ領事代理宛汕報抗議ニ對スル回答書ヲ

送り來ル(昨日、答辨ト大同小異ニテ誠意ナシト)

(二)領事館警察情報ニ依テ汕報ハ其後不安ヲ感シ

社内宿泊者減少セリト

(三)公安局督察處ハ本日冬防警戒ニ関スル臨時會議ヲ開

催セリ

(四)東江防衛上新ニ増派セラルルコトナレル廣東政府第

三軍幹部許元幹(副官長)唐子常(軍醫處長)

等本日山東號ニ來汕セリト

(五)張師長ハ潮普惠南山ノ殘匪ヲ勦滅スル為伍漢屏

(團長)彭光廷(營長)ニ命シ潮陽普寧各縣長ト

協力其警衛隊ト共ニ進勦ニ決シタリト又張師長ハ

匪窟、情況ヲ詳細知ラシカ為彭營長及區靈依(潮

陽)方乃斌(普寧)各縣長ニ來汕スル様電命セリト云フ  
(新聞報)

(内)銀莊永豐破産セリ

一月十六日(火)正午天候晴氣圧七七一。氣温一八。風ナシ  
一。九三七

一四二五

艦長總員ニ對シ訓示(上海事件及當地汕報不  
敬事件ニ對スル吾人ノ覺悟ニ関シ)  
艦長陸上視察(特ニ汕報新聞社ノ所在)

二訓練作業

三在港外國軍艦

同前

四情况

(一)第三軍直轄第一教導團々長趙蘭外二十餘名來汕

(二)昨年十月以來公安局前ニ掲ケアリタル第二師訓政處ノ

及日宣傳画(二丈四方)ハ今朝漸ク取除カレタリ

一月十七日(水)正午天候半晴氣圧七七二。氣温一八。風向北風力ニ米

一一三。

艦長領事館訪問

一三一五

中國特務艦福安入港

二訓練作業

部署教練 郵置教育 機關午入

三在港外國軍艦

Shanghai (2/4) (米) 福安

四情况 市内平穩

五發電

竹機密第七番電(宛司令官)

不敬部事々件ハ市長ノ責名政策及汕報ノ責ラン我主義等  
モ含マレ月並的抗議ニテハ要求通りノ解決ハ困難ナルカ如シ  
依テ領事ヲ經テ軍部ノ強硬ナルヲ傳ヘテ兩考ヲ促シ尙誠  
意心ヲ認メ得ス而モ局地的解決ヲ期セントセハ小官一應市  
長ニ警告告ヲ與ヘタル後直接手段ヲ以テ膺懲スルノ要アリ  
ト認ム

一月二十八日(木)正午天候晴氣圧七七。八氣温一八。風向西風力一米

二五二。 艦長領事館訪問

一五三。 米驅 Mc Carmick (223) 入港訪問使交換

一六二五。 米驅 Jack (214) 出港

六訓練作業 船体兵器機関午入

三在港外國軍艦 Jack (214) Mc Carmick (223)

四情况

葦ノ夜間教練ヲ市内相當驛キタルモノ如シ

五發電

竹機密第八番電(宛司令官)

明二十九日午後小官葦驅逐艦長ト同行市長ヲ訪問シ我  
決意ヲ通告シ要求ニ應セサル模様アラハ尙考慮ヲ促シ  
一先一日正午迄ニ回答スル様申シ入ルル所存ナリ



六着雷

馬要機密第八一番雷 (發馬要參謀)  
死竹驅逐艦長

竹機密第七番雷ニ関シ我々強硬ナル態度ヲ現實ニ示ス必  
アル場合其ノ時機ニ就テハ二月一日樞實地入港ノ頃ヲ適當ト  
認メ其際要スレハ第三十七驅逐隊第一小队ヲモ貴地ニ派遣セシ  
メラルル豫定

一月二十九日(金)正午夫候晴 氣圧七七。九 氣温二六。五 風向東 風力一米

一三三四 錨地変更及錨泊(第錨日本領事館口、南五度西六九。米  
一六。〇 艦長領事館ニテ黃市長ト會見 南天候東七六。米  
(領事代理及葦艦長同席)

米驅 Mc Cormick (223) 出港

二 訓練作業 出入港諸作業、陸戰隊座學、機關午入、夜間放練

三 在港外國軍艦 J. Nash (215) 米

四 艦長及市長ノ會見

領事館ニ於テ艦長葦艦長同列ニテ市長ニ會見シ二時  
間ニ及リ本件ノ重大性軍部ノ決意等ヲ述ヘ彼ノ反省ヲ促シ  
タルモ彼ハ其素套ヲ段ヲ以テ極力要矣ノ言明ヲ避ケタリ  
(竹機密第九番雷參照)

五發電

- (一) 昨夜華軍ノ夜間教練及今夜本艦夜間教練ニテ市民ノ恐慌漸次増加シ上海事件ノ新聞報(支那軍大勝等虛構的記事ノシ)ト相俟テ種々謠言流布サレ始メタルヲ以テ遂ニ戒嚴令(日本領事館方面ニ特ニ嚴重)ヲ實施シタル模様ナリ尙昨今日富豪華人中香港及奧地方面ニ避難セルモノ相當アルモノ如シ
- (二) 第三軍第二教導團ハ潮安ノ意溪ニ到着次テ澄海東龍方面ノ配置ニ就キタリト云フ
- (三) 竹機密第九番電(宛司令官)
 

本日市長ト會見シ當方ノ決意ヲ示シ置キタルカ其際彼談ヲ綜合スルニ充分ナル誠意ハ認め難ク二月一日正午迄ニ回答スル様極力督促セルモ是ヲ實行スルヤハ頗ル疑ハシ

竹善第四番電(宛司令官)

昨夜華軍ニ於テ夜間教練ヲ施行セシ處本日市長トノ會見ノ際人心激昂スルヲ以テ市街照射ノ事ハ出來得ル限リ考慮ヲ乞フ旨申出ラシカ小官ハ此ノ件ニハ触レヌシテ別レタルカ今夜本艦ニ於テ夜間教練(従前ヨリ豫定セシモノ)ヲ施行セシ處市内ニ於テハ可成色メキ立ケシモノノ如シ折柄上海事件ノ號外モ出テ日本軍來攻ノ噂等立ケテ市内相當

ス

緊要張シタルヲ認ム

六着電

馬要機密第八七番電(發參謀長)

上海事件、情況一般支那人間ニ明トナルニ從ヒ其ノ反響音ト  
ニテ意外ノ事變勃發スルヤモ計ラレス此ノ際一層警告ヲ嚴  
ニ情況報告等機ヲ失セサル様特ニ注意アリ度  
一月三十日(土)正午大候晴氣圧七七〇ニ氣温一九〇。風向北西 風力六米

一六四五

艦長領事館訪問

ニ訓練作業

大掃除防火教練陸戰座學

三在港外國軍艦

同前

四情況

(一)市長領事館ニ來訪セリ

竹機密第一〇番電参照

(二)市内騷然特ニ領事館附近及陸岸ニ於ケル入出激増セリ

(三)第三軍第二教導團ハ意漢ヨリ掲揚ヲ經テ來汕澄海高

ヘリト

五發電

(一)竹機密第一〇番電(宛司令官)

本日市長洩報事件ニ就キ領事ヲ訪問セルカ極度ニ市  
民ノ反感ヲ虞レ店ルモノ如ク(一)(二)項ニハ触レス僅ニ(三)

(四)ラ認メタルノミニテ盛ニ自己ハ誠意云々ヲ口ニスルモ殆ト是  
ヲ認ムル能ハス領事代理ハ以上ニテハ承認スル能ハサル上日通  
告セリト明三十一日午前十時兩會ノ豫定ナリト

(二)竹善第五番電(宛司令官)

不ニ回ノ夜間教練ハ市民ニ異常ノ衝動ヲ興ヘ昨夜ハ遂ニ  
戒嚴令ヲ施キ有防自動車ヲ繰リ出ス等ノ舉ニ出テ  
タリト云フ

口上海事件ハ新聞紙ニ現ハレタルモノノ影響音ニ打消サ  
レ未夕大ナル反響音ヲ見ス

六着電

馬要機密第九一番電(發司令官)

馬要機密第七番電中撫、厦門發ヲ三十日ニ改ム

(終)

馬要機密第六二號

副官



二月十九日進達

馬要機密第六二號  
官部  
印司

軍務局

第一課長  
局員



第二十五驅逐隊汕頭警告備報告

(自昭和七年一月三十一日  
至昭和七年二月十七日)

軍務局受  
7.2.29  
月 日

7.2.18  
受按

第二十五驅逐隊弘頭警備報告

警備日誌

一月三十一日(日)正午天候晴気圧七六七気温二。風向北東風力一

一。九一。極少率井弘頭着双錯狗(錯位領事館旗竿、

南三十五度東凡。)

。九二。竹艦長未艦

一。三三。領事事務代理及在留民代表者未訪

一。三八。司令官司令領事館訪問

一。八八。連絡將校及連絡兵ヲ領事館ニ派遣

訓練作業 入務作業 体育休業

在泊艦艇 令極少率

四 三 二 一

不敏知事問題。經過 去ル十二日當地漢字新聞弘

報ニ不敏論説掲載セラレルヤ當地領事ハ十八日

市長代理ヲ訪問シ嚴重抗議、上左刻回項、要求

多含ハ公文ヲ申スセリ

の担任記者、處回刻迄弘報、停刊

(2) 弘報、正式陳謝文ニ陳謝文、同紙掲載

(3) 市長ハ公文ヲ以テ陳謝スルコト

(4) 今後ノ取締ニ保証

當時市長ハ衣東ニ赴キ不在中ニシテ市長代理、  
言ニ依リハ市長ハ二兩日中ニ帰任ノ事定メレハ何分  
ノ回答共進待タレ度シトノ事ナリシト云フ

翌十九日市長ノ帰任ヲ新聞紙ニテ知りタル領事  
ハ早速市政府ニ市長ヲ訪問昨日提出ノ要求

ニ對スル解答ヲ迫リタルニ市長ハ言ツ左右ニ拘  
テ談論親ノ不敬記事ナルヲ承認セントセス越

エテ二十三日領事代理ハ再ヒ市長ヲ訪問シ解答  
督促スルトコトアリタルニ市長頑迷ニシテ容易ニ

其不敬記事ナルヲ承認セス二十五日市長ハ公文  
以テ該記事、何等不敬記事ニ非サルヲ解答

シ来レリ茲ニ本問題ハ全ク決裂状態ニ陥リ  
何等解決ノ曙光ヲ認ムル能ハサルニ至レリ

從來當地市長ハ親米排日的气分濃厚ニシテ  
且ソ裏面ニアリテ市政、實権ヲ握ル當地警

備、独立第二師長張瑞貴亦頑迷ニシテ排日  
色彩ニ富ム市長カ最初不敬ヲラスト主張セ

ハ或ハ彼一筋、小生意氣ヨリ華生セルモノナラシ  
モ尔後頑迷ニ彼カ其、主張ヲ續ケタルハ凡ク張

張

瑞貴、指金ナリト云フ然レ共本問題ヲ此終ニ放任  
 シ置クコト能ハス 竹尾長ハ一志申長ニ發告ヲ共  
 ハ彼看シ志セスルハ新然實力ヲ以テ奮懃スル  
 ノ要アリト認メ二十九日領事館ニ於テ市長ト  
 會見決意ヲ告グル所アリタリ又ヨリ名ニ十八日夜  
 筆ニ於テ行ハル夜間放練へ照射注小銃空砲等  
 火ハ時節柄人心ニ相當ノ刺戟ヲ與フル處アリ  
 續イテ二十九日夜竹ニ於テ行ハル同標夜間放  
 練ハ市民ニ極メテ重大ナル衝動ヲ與ヘ不敬野  
 率問題ヲ中心トシテ當地ハ戰亂ノ巷トトルヘ  
 シト憂虞セル市民ハ三十日三十一日ニ亘リテ續セト  
 眞地又ハ香港 等ニ列上ヲ開始シ其數三千内外  
 ニ上レリト云フ 独立第二師又戰備ヲ嚴ニシ其司  
 令部ヲ日本軍繼ノ砲撃ヲ避クヘク停車場附近  
 ニ移駐シ潮安ヨリ召集セル約二千ノ兵ト共ニ約  
 三千位ノ兵カ市内各要所ニ分駐土庫防杖野砲  
 等ヲ備ヘ高広東ヨリ登州ニ移動中ノ第七師ノ  
 兵カ約四千位モ特ニ請フテ一時郊外ニ留メ置  
 キシモノ、如ク實數約七八千ノ兵カ市内外ニ  
 集中シ對戰準備ヲ完了セルモノ、如シ

2



五

三十日市長ハ領事館ヲ訪問三四項ヲ兼認ノ旨申セ  
 ルモ領事ハ一二項モ兼認セヨト尚明日市政府ヲ  
 訪問交渉スヘント約シテ分レタリ  
 三十一日極入務領事代理來訪シテ從來ノ経過ヲ  
 述ブ尚領事ハ同日市長ヲ訪問セルモ市長ハ第一  
 項ノ外殆ント全部ヲ兼認セリ依ッテ本件ハ此程  
 度ニテ片付タルヲ得兼認ト認メ明日公文ノ交換  
 ヲ約シテ本日ノ交渉ヲ終レリ

着電

馬要機密九五番電三十日午前十一時(兼馬要司令官)  
 一馬要機密九七番電中第二十七號逐隊ノ復阿拳ヲ

二月一日之改メ其革ノ復阿回航ヲ取止ム

ニ竹ハ二月一日孤頭拳復阿ニ回航スヘシ

六

拳電

樞機卷十三番電三十日午後九時(宛馬要司令官(毛羅司令))

一市政府ハ民心ヲ抑圧スルカトク不敬事件ノ聞レ

第二師ニ指令ヲ仰ク傾アリ一方新聞ハ第二

師ト意ヲ同シテ氣勢ヲ揚ケツツアリ今ノ處

停刊等遂ニ難シ海軍ノ威圧ハ民心ヲ夫致ナラシ

メツツアリ此ノ際市長ノ陳謝今後ノ嚴重ナル

取締折衷約迄、初事取消陳謝文奉表等ヲ以テ  
 一先ツ打切リシ可ト思ハル本日領事ハ市長ト會  
 見畧右程度ノ折會ハ付キタルモノ、如シ  
 二市外流亡多ク、實地ニ避難スルモノ續出シ不安、  
 氣強レリ不敬事件ニ對スル判斷ト上級事件  
 誇大、初事ニ基キ加フルニ對日宣戰布告ニ決  
 ス、號外発行セラレタルニ依ルト思ハル市内警戒  
 相當緊張シアリ

三本日英米佛領事ハ日本領事ニ上級、如キ事件  
 ヲ起ササル標勸告シ来レリト云フ（孤頭三上日極）

二月一日（月）正午天候曇気圧七六七 気温二〇 風向東風力一

- 一。七回。米艦ニ三四 (Seward) 入港 訪問使交換
- 一三〇。米艦ニ二回 艦長米訪
- 一五五。司令官退艦 葦ニ転乗
- 一六三。葦出港
- 二 訓練作業 船体兵器機関手入
- 三 在泊外國艦船 米艦ニ二回
- 四 情况
  - (一) 不敬初事問題一紙落 本日黃市長ハ領事館ヲ  
 訪シ 張瑞貴ノ指金アリント見上前約ニ背キテ

(二) 市長、陳謝ヲ取消ス旨申セルモ數時交渉ノ上大  
 体昨日、約束通儀用端ニ纏リ公文ノ交換ヲ終  
 レリ之ニテ本件先ツ一級落ト見ルシ得ヘシ  
 人心、動搖 人心、動搖止マズ待難引上テラトス  
 者尚陸續トシテ絶エス市中商店モ閉店スルモ  
 ノ多シト云フ

(三) 共産黨員、策動 本日早朝一支那青年船校ニ  
 テ本艦ヲ訪レ靴下ノ中ヨリ一通ノ手紙ヲ出セリ  
 就イテ見ルニ「我等ハ大山上ニ住ム云東ヨリ来シ  
 ル共産黨員トルカ(其數約七百名小銃拳銃各  
 三百ヲ有スト云フ)今夜十時砲台附近ヨリ弘頭ニ  
 上陸當地ノ貪官汚吏ヲ総殺スル考ナレハ軍費  
 二千元短艇一隻ヲ借用シタシトアリ勿論追送  
 セルニ角石方面ニ去レリ

按スルニ一味ノ徒市内人心ノ動搖ヲ機トシ一働キ  
 セントスルモノナランカ或ハ対支攻撃ノ我々氣ヲ  
 引ケルモノトモ思ハ患拳拳笑止ノ至リナリト云々  
 テ氏心動搖ノ一端ヲ窺ヒ得ヘヤカ  
 (四) 市中、警戒 尚昨日ト同シク極メテ嚴重ナリ  
 着目電

六

馬車機密一番電一日午前五時(奉馬車了令宣)

一本城広東視察ヲ取止メ華ニ乗艦一日午後汕頭

奉馬車公ニ帰港ス

ニ特令アル迄死逃隊ノ配備ヲ現状通トス

奉電

(1) 極善十三番電汕頭情報(一日極)(宛馬車了令宣)

當地対日感情夫錫化シ警戒最重トルク利

用セントセルモノカ今早朝共産黨散友仁(広

東ヨリ来レリト称ス)ノ名ヲ以テ今夜十時汕頭

市ニ上陸行動スルニ付資金二千元並ニ短銀貸

典等援助ヲ乞フ旨極ハ申シ来レリ党員七百

名小銃拳銃各三百ヲ所有スト云ヘリ勿論拒

絶セル處トルモ以テ一般ノ状況ニ慮ヒ得ヘン昨

夜市内ノ警戒最重ヲ極メ今尚難難スル者多

シ(一日正午)

(2) 極機密十四番電一日午後八時宛馬車了令宣華艦長

(一日汕頭極)既電ノ如ク黃市長ハ民心ヲ抑

スルカトク不敬事件ニ対シ甚急ニ張師長ノ

制圧ヲ受タル有標ニテ新聞社ニ民衆トノ間ニ

板快ミトナリ自己ノ意志ヲ公表シ難ク本日

二月二日(火)正午 天候曇 気圧七六七 気温二二 風向東 風力一

一 一〇〇〇 今米 駟二回 答 妨  
二 一九〇 各砲ニ 弾薬トニ 奉シ 備ヘ 中五 奉一ニ 候 答

三 訓練 作業 艦体 兵器 機関 午入

四 在 砲 外國 艦 艦 米 艦 二 二 回  
五 情 况

(一) 本日、當地各新聞ハ一斉ニ 弘報 不敬 砲事 間  
題、日 街 解決 シ 特 筆 大 書 シ テ 報 ン 解 決、 経

我領事館ニ未 妨 数時間ニ 亘リ 折衝 自己、  
若 衷 シ 述ヘテ 陳謝 了 解 ヲ 示メ 今 後、 最 重  
取 締 リ シ 折 衷 約 シ 不 敬 砲 事 取 消 注 陳 謝 文 ヲ  
明 後 日、 弘 報 ニ 揚 載 スル コトニ テ 勘 弁 ヲ 示シ 度  
ヤ 旨 申 出テ 其 文 安 ホモ 概 不 適 當 ト 認メ ラ  
レタリ 考フルニ 是 以 上 折 衝 シ 重 スルモ 市 長 相  
午ニテハ 解 決、 望 トク 西 女 スルニ 殊 立 第 二 師 ト 認  
慈 庄 幸 シ 構 フル 事 ト ナリ 此 際 不 利 ト リ ト 認  
メ ラルルカ 故ニ 一 先 ツ 文ニテ 打 切 レリ 今 後、 現  
在 以 上 民 心、 動 搖 スル コト ナク ルヘテ 右 折 衷 約、  
實 行 成 行 ヲ 監 視 セ ン ト ス

過注ニ申長ス日本領事ト、往復公文ヲ希表セリ

(三) 市内各要所ニ配備中、支那兵モ午後三時頃ヨリ過半引揚ケ潮州ヨリ来レル者ハ汽車ニテ潮州ニ引揚ケタル模様ナリ

(四) 然レ共市内尚騒言盛ニ行ハレ人心、動搖ハ今尚止マス、奥地ニ避難スル者モ尚相當アル由ナリ

(四) 昨夜市内小公園ニテ數十名ノ工人交々演壇ニ上リ日本兵ノ上陸ハ我兵ニテ撃退スルニ付我々ハ日本僑民ヲ慰撫セザルヘカラス又日本人ニ使用セラルル支那人ハ冷血動物ナルヲ以テ之等ヲモ撃退セザルヘカラスト過激ナル反日演説シテ聴衆数百名ハ拍手シテ之ヲ傾聴セリト云フ

(五) 演説者ノ中ニハ北方人アリ北京官話ニテ話シ汕頭人之シ翻譯トセル由(警察官報)不敬事件、日荷解決ハ支那官憲ノ勝利ナリト信セル市民ハ上級事件、支那軍大勝利ノ電報ト相俟ンテ今迄ノ我日感心情ハ侮日

六

着信電

感情を轉換セントスル模様アリ本日領事館  
 正門を疎未実ヲ塗レルモノアリ又海軍糧食  
 運搬ノ苦カソ公安局ノ引致セル事件アリ  
 日本人使用ノ支那人コレテ逃ケ出ス者ボツク  
 アリト云フ

(六) 彈丸ニ信管裝着 市内騒言止マズ夜間  
 市内ニ銃声ラシキモノ聞ユルコトアリ萬一  
 ノ場合ニ備フル為本日各艦ヲシテ各砲側ニ  
 彈薬十二箱ヲ準備セシメ中五箱ニハ信  
 管ヲ填着セシム

(四) 重要機密六番電ニ日午前九時(奉重要命令)

一梨ハ本日復阿航ニ頭ニ回航スヘシ

ニ華ハ準備完了次第馬公航一復阿ニ回航スヘシ

(四) 重要機密七番電ニ日午前八時(奉重要副官)

當今ノ間海軍着ニ於テ表スルモノノ外聯合

艦隊ヲ率美ニ關係アル海軍艦艇ノ行動ニ

關スル一切事項ノ表ヲ禁止セラレタリ

(四) 重要機密十五番電ニ日午後八時(奉重要命令)

重要機密第六番電ニ依リ梨ハ頭回航ヲ取止ム

七  
發  
電

(三) 馬尼拉 泰十番電 二日正午 (泰軍要參謀長)

一 既報 軍務各長ヨリ申進、次第モアリ此、際時

各シ南支方面ニ松大スルコトハ最モ慎マサル

ヘカラサルヲ以テ海軍側ニ於テ態度ヲ慎

重ニスヘキハ勿論ナレト在留邦人籍民ノ

言動ニ対シテモ領事ト協同奉 端奉生シ

未然ニ防止スル標 務メラシメ度シ

二 萬一國交 繼續等、事 態 泰 生ニタル場合

ニハ先ツ在留民、引揚ケツ急キ海軍トシテ

極力 羈絆 少クシ自由、立場ニアリテ行

動 スルヲ得 策ナリトス 事 態 ノ 程 度 ヲ 司

リ一部 居留民、然 留 スルモノアルモ 之ヲ 現 地

ニ於テ 保護 スルコトニ 關シテハ 慎重ニ 考 慮シ

後ニ至リテ 披キ 差 正シテハ 破 損ニ 備リ 急ニ

武ヲ 積 スカ 如キ 事 々ナラシル 標 注 意 アリ

三 事 態 惡 化、場合 支那 軍 艦 船 上ニアル

砲 台ニ 対シテ 如何ニ 處 置スヘキヤニ 就テモ

豫メ 考 慮シ 置カレ 度 以上 依 命



(1) 樞機表十五番電二日午後六時(宛馬要了令官)

利ホ、當地未着ハ極度之状況ヲ着險化スルモノト認メラルルニ付暫ク其ノ終待機セシメラレ度ニ状況別電

(2) 樞機表十六番電二日午後七時(宛馬要了令官)

(弘頭二日極) 独立第一師及第七師約一万以上ヲ集中シテ対岸及市内各所ニ配置シ夜間ハ武装巡查隊等、往來頻繁ニシテ領事館或ハ邦人機關、周囲ニ武装兵ヲ配置シ便衣隊ニ疎動アル等頗ル緊張シ市内支那人間ニ流言絶エス居留民不安ヲ持シ二三日ヲ経バ或ハ食糧ニ窮スルニ至ルヘク共相心像セラレ若シ軍隊主クハ居留民避難ノ方法ナシ之ク退去スルル迄ハ自重隠忍事件ヲ起ササル如クスル外ナク不致事件解決セルヲ以テ民心安定ニ向フヘントモ思ハレ上逸報導等ニヨリ一層後日感情増加スヘントモ思ハルルニ付居留民ニ於テモ一層慎重、態度ヲ持ス必要アリ居留民引揚最小時日ノ問題ニシテ婦女子ハ可成早ク引揚ケ其他ハ準備研究シテ標領事ニ勸

告シオケリ右状況ニテ當地トシテハ兵力ノ増加  
ヨリモ寧下ハ民心ノ激化防止シ重要ナリト思  
ス。

二月三日(水)正午天候晴気圧七六七気温二二度  
八二〇 米船ニニ七 (Pilsberg) 入港 訪問使交換  
〇九四〇 米船ニニ四 出港  
一三〇〇 樞艦長市内状況視察  
一四〇五 米船ニニ七 艦長来訪

二 三 四

訓練作業 艦体兵器機關手入  
在泊外国艦船 米船ニニ七  
情况

(一) 市政府ノ安民佈告 本日市政府ハ弘報不

敬語事項問題モ月荷解決セルヲ以テ市民ハ

安心業ヲ営ムヘク濫リニ難言ニ惑ハサレテ

騒擾スルコト勿レト安民ノ佈告シ奉ルニ

アリタリ 志公安長ハ巡警シテ各戸ヲ訪

問セルメ事情件解決セルヲ以テ安心スル様告

(二) 人心稍沈静ニ赴ク 本日樞艦長シテ領事

館巡查ト共ニ市内状況ヲ視察セルムルニ市内

7

五

ノ配置兵及特設防備(土震防杖等)モ大方徹  
 去セラレ人々漸次沈静ニ赴キツツアリ市民  
 ノ輿地ニ引揚タル者モ殆ント見度ケスト  
 (三) 邦人婦女子ノ引揚テ決定 本日領事ノ勸告ニ  
 ヲリ居留民群議員会開カレ邦人婦女子ハ全  
 部来ルル八日ノ鳳山丸ニテ台湾又ハ内地ニ一旦引  
 揚タル事ニ決定セリ 右引揚テ員數約六十五  
 名殘留員約六十五名ナリト云フ  
 (四) 本日ノ弘報ハ約ニ違ヒテ不敬却事取消並陳  
 謝文ヲ紙上ニ掲載セス  
 着電  
 近更ニ機密十九番電 三日午後八時三十分(兼五要冬津長)  
 (一軍務機密第九十九番 三日午後七時)  
 明日以後使用スル暗號ハ在奉天海軍特設機關  
 及北京駐在武官兼一着目スル電報ノ外ハ成ルルハ  
 海軍暗號書甲ニ依ル事ニ定メラルル本電  
 所要ノ旨ニ傳ラレ度也

六 電

(1) 極善十四番電 弘報情報 (三日午前十一時極) (宛事本會)

一昨夜十時頃市街下流 (日本領事館ヨリ教百米

下流) ニテ 銃声四五響シテ聞クタルモ市中心

先特ニ変化ナシ

ニ本日、新聞ニハ市政府ヨリ事件月稿解決

セルカ故ニ市民ハ安心シテ然程業スヘキ旨佈

告アリ

三本日本艦糧食中肉類ハ購入不能ナリキ

(2) 極善十五番電 三日午後八時 (三日極)

弘報ハ未夕不致却奉取荷註ニ陳謝文ヲ摺載

セス他ノ各新聞ニハ市長ト領事ト、往復文

シ摺ケタリ

(3) 極善十六番電 (弘頭 三日午後九時) (宛事要了令旨)

極善十五番電ヲ取荷ス不致却奉ニ關シテ

陳謝文ヲ摺ケサルモ昨日、弘報ニ領事ト市

長トノ交涉顯未及往復公文ヲ摺ケ志却奉載

意ヲ欠ケルモノアルモ免モ角遺憾ノ意ヲ表セリ

他ノ各新聞モ同様交涉顯未及往復公文ヲ

摺載セリ

8

(2) 樞機家ト九番電 三日午後九時 (八九五要ト令旨)

(三日孤頭極)

一 日報、如ク 独立第二師ハ其本部ヲ軍艦、砲  
 撃、依ル損害少キ所ニ移シ市内各所ニ砂囊  
 防杖等ヲ備ヘ民衆ニ銃眼ヲ造リ兵ヲ配置シ  
 殊ニ我領事館附近及対岸迄ニ海岸ニ機銃  
 直撃砲其他ヲ備ヘ作戦準備極メテ物々ニキ  
 モノアリシカ事件 兎ニ角解決ト見タル慮カ本  
 日ハ市内各所、配置兵及防杖等ハ一部之ヲ  
 撤シタル如ク市政府ハ安民ノ佈告ヲ發ス  
 ルト共ニ公安局シテテテ判訪問安民心管業ス  
 ル標告達セシメマツアリ本日ハ市民ノ奥地ニ  
 引揚タル者殆ントナク人心漸次沈靜ニ赴キツ  
 ツアリ

ニ 居留民婦女子全部及籍民婦女子若干ハ未  
 ル八日、便船ヲ引揚ケテ決セリ

三 昨日ヨリ各艦ヲシテ砲機銃、彈薬ヲ備ヘシ  
 メ見張ヲ嚴シク發令中

二月四日(木) 正午 候曇 氣 在七六四 氣 程一七 風向東 風力四  
 司令 米 鬼 三三七 答 訪

一三一五

領事館、御為真及小學校、勅語ヲ極へ奉  
移ス

訓練作業 船体兵器機関手入

在泊外国艦艇 米艦ニニ七

情況

(一) 弘報ハ約ニ違ヒテ昨日ノ新聞ニ陳謝文ヲ掲

載セス 依リテ本日領事ハ代理シ市政府ニ

取テ何故ニ掲載セシメサルヤヲ難詰センニ市

長ハ此事取荷茲陳謝文ヲ含ム公文ヲ各紙ニ

掲載セシメタルヲ以テ單ニ陳謝文ヲ弘報ニ掲

載セシムルヨリモ壯重ニシテ効果大ナリト思ヒ

答アリ

(二) 今日ノ不敬新事問題日猶解決シ喜ハル民衆ハ

是レ軍政當否能ク不撓不屈ノ精神ヲ以テ果

カテ屈伏セス民族ノ爲ニ夫シテ争ハルモノトナレ

書キル一旗ヲ張務員ニ「益國幸先」ト書目セル

一旗ヲ黃市長ニ贈レリ本日午後民衆約三百

ハ此ノ旗ヲ持シテ市政府及獨立第二師々司令部

9

五

ニ至リ贈呈式ヲ行ヒコ打倒日本ノ口號ヲ叫ビテ  
氣勢カク揚タル所アリタリ

(4) 樞密院二十番電曰日午後五時 (宛馬要令官)

(弘頭曰日極) 當節不敬事件ハ初メヨリ先方全  
然不敬ナルコトヲ認メサリレシ威圧ニヨリ再三  
折衝ノ結果曲リナリニモ彼等ノ陳謝ヲ以  
テ落着目ヲ見タルモノナルカ弘報ノ取消陳謝ハ  
未タ直接掲載サレザルモ各紙ニ掲載サレタル  
領事宛 市長公文書ニハ弘報ノ市長宛部事  
取消注ニ陳謝ノ原文ヲ其終引用シテアリ現狀  
ニ於テ弘報ニ直接掲載セシムルコト困難ナリト  
思フモ兎ニ角形式上ノ問題ナルヲ以テ領事ヲ推  
レテ督促セシメツアリ

(2)

樞密院二十番電曰日午後八時 (宛馬要令官)  
一市内、或嚴禁ニ領事館及當隊方面ニ對スル警  
戒監視高嚴重ナルモノ一取ニ民心沈靜ニ向ヒ  
ツツアリト認メラル一方無智ナル民衆ハ稍  
ツケ上リ、氣味アリ  
本日當隊糧食ハ殆ント蒐集シ得ス居留民ハ今

四

極普十七番電 弘頭情報(五日極)(宛五要下令旨)  
一本日弘報ハ不教却奉 取消後ニ陳謝文ヲ掲載

一先ツ解決セラルルニ至レリ  
掲載セリ之ヲ以テ紛糾セル不教却奉問題モ  
本日、弘報ハ不教却奉 取消及陳謝文ヲ紙上ニ

- 一、訓練作業 被服洗濯 船体兵器機関手入
- 二、在泊外国艦艇 米艇ニニヒ
- 三、情光

二月五日(金)正午天候曇気圧七六九 気強一五 風向北風力ニ

所幸、シテ購買し得ル状タルモ彼等民衆、在迫シ畏レ使用支那人、漸次逃亡スル者アリヤカニ食糧ハ全然空白ヨリ直接購入、外ナキニ至ルヤモ保シ難シ而シテ日人、快用シ得ル舟艇總無ナル現状ニ於テ今、中婦女子ヲ引揚ケスラジ安全ナリト認ム

二、今、知支那軍隊ヨリ攻勢ヲ希動スルコトハナキ見込ニテ婦女子ヲ引揚ケ逃ハ當地現那備、俟テ可ナリト思考ス 尚本日領事館御真影及七學校、勅語ハ極ハ奉移セリ



二  
 入、此ヶタルモノモ一部屑館セリ  
 市内漸次静穏ニ還リツツアリ領事館使用  
 緊張振リトシ察シ得ヘシ  
 長張瑞貴ニ「国ノ干城」市長「急国軍先」  
 旗ヲ送り以テ當時民衆ノ恐怖ト軍隊ノ  
 解決ニ安堵感謝セル市民ハ昨日第二師  
 セリ本件之ニテ結了ト見得ヘシ因ニ本件

二月六日(土)

正午天候曇氣壓七七一氣温二三風向東風力四

一 訓練作業 大掃除防火教練 船体兵器機關手入

二 在泊外國艦船 米驅二三七

三 着電

馬要機密二十二番電六日午前十時(發馬要司令官)

上海方面ノ情勢ニ鑑ミ此ノ際特ニ自重スルト共ニ警戒ヲ嚴

ニスベシ

四 發電

樞普十八番電 汕頭情報(六日樞) 宛馬要司令官

一 當地新聞紙ハ相妻ラズ上海事件ニ関シ日艦五隻撃

沈 塩澤司令官屢々敗ルルニ因リテ自殺ス等宣傳的

上海電報ヲ掲ケ居ルモ 獸軍獸兵等ノ文字ハ紙面ヨリ消

エ去レリ

二 市内外ニ配備セル兵ハ大部分引揚ゲタル模様ニシテ市内表

面平靜ニ歸シ正午氣分現ハレツアルモ一般ニ不安ノ氣未

知全ク去ラズ邦人使用人ハ尚民衆ノ脅迫ヲ惧レツアリ

二月七日(日)

正午天候曇氣壓七六八氣温二二風向北東風力五

一 訓練作業 体育休業

二 在泊外國艦船 米驅二三七

三 情況

四

祭電

一 市内警戒状況 晝間ハ特ニ平日ト大差ナシ只領事館附近ノ不良武装巡警時々邦人ニ銃剣ヲ突キツケ又ハ邦人ノ身体検査ヲ故意ニナス程度ナリ、夜間警戒相當ニ嚴重ニシテ領事館及獨立第二師司令部附近ハ戒嚴ヲ布キテ午後七時以後ハ通行ヲ許サズ市内ハ武装兵約三十名ヲ拳銃ヲ持テ巡邏シツアリ又私服ノ探偵隊ハ旅館料理屋等ヲ盛ニ臨檢シツアリト言フ

二 奥地ノ共土匪 汕報事件ノ為メ市内外ニ多数ノ兵力ヲ集中セル隙ニ乘ジ奥地ノ共土匪ハ其猛威ヲ逞シ澄海普寧揚陽大捕梟ノ各部落ハ相當ニ其ノ慘憺ヲ被リタル由ニテ増派部隊ノ早急引揚ゲハ一面之ガ為ナリト稱セラレ

樞著二十番電汕頭情報(七日樞)宛馬要司令官

一 市内表面引続キ平穩ナルモ夜間ノ戒嚴ハ相當嚴重ニシテ武装兵士及探偵隊等市内ヲ巡邏シ領事館附近ハ午後七時以後通行ヲ禁止シツアリ

二 汕報事件ノ為メ市内外ニ兵力ヲ集中セル隙ニ乘ジ奥地澄海普寧揚陽梟等ノ部落ハ共土匪ニ畧奪セラレタル由ニテ増派部隊ノ早急ニ引揚ゲタルハ一面之ガ為ナリト言フ

二月八日(月)正午天候曇氣壓七六四氣温一六風向東風力一

一八〇。艦長請託  
 訓練作業 船体兵器機関手入  
 在泊外國艦船 米驅二二七  
 情況

一 邦人婦女子、引揚、去ル三日當地居留民ハ時局ニ鑑ミ一先  
 ツ婦女子全部ヲ内地又ハ台湾ニ引揚ゲニ決スル處アリテ  
 後着々引揚準備ヲナシツ、アリシガ本日入港ノ鳳山凡テ  
 大部分ノ婦女子ハ無事引揚ヲ了セリ引揚員數内地八五  
 五籍民一五殘留婦女子ハ博愛病院看護婦家族病氣  
 為籌事情止ムラ得ザルモノ一七名ノミトサレリ  
 尚滿州事件發生以來、當地邦人ノ引揚員數ハ(本日分  
 ヲ加ヘ)内地人一〇八名籍民五五ニシテ殘留員數内地人二  
 人籍民三〇四(外ニ奧地在住者七九名アリ)ナリト言フ  
 二 新聞、休刊、當地新聞紙ハ旧正月、為六日以來休刊  
 中ニシテ特ニ號外等モ出サズ(新歴正月二一週間休刊セ  
 リト言フ)

五 着 電

①馬要機密二十三番電八日午後二時五十分發馬要司令官  
 梨ハ便宜厦門群汕頭ニ回航スベシ  
 ②馬要機密二十四番電八日午後三時 發馬要參謀長

六

六 霽

今次ノ各隊集合ノ機ヲ利用シテ進級試験(特ニ期日ヲ指定セラレタルモノヲ除ク)ヲ施行シ置カレ度シ

當分ノ閩厦門ヲ第二十七驅逐隊、汕頭ヲ第二十五驅逐隊ノ受持トシ各隊一艦宛輪番補給、為歸港セシメラル

の榎機密二十三番電八日午前九時半(宛馬要參謀長)

(八日汕頭榎) 市内変化ナシ朝來邦人婦女子、乗船ヲ為シツ、アリ予定通り無事引揚ラ完了、見込、正月ニテ

引続キ新聞休刊上海、影響モ現レ居ラズ婦女子引揚後幾分之ガ影響アルバキモ梨、當地來航最早ヤ差支ナ

シト思ハレ

(四)榎著二十三番電汕頭情報(八日榎) 宛馬要司令官

一午後四時鳳山丸引揚女子、引揚ヲ無事完了セリ婦女子、引揚ハ多少人心ニ衝動ヲ與ヘタルモ大ナル影響ナキ

模様

本日ノ引揚員數内地人五五籍民一五殘留員内地人八二

(中)婦女子七)籍民三、四高十二日、便船ニテ引揚予定者

籍民婦女子約二十、内地人婦女子ニシテ殘留セル者ハ博愛病院看護婦其他家族病氣等止ムヲ得ガレモノ、ニシ

リ

二月九日(火)正午天候曇氣壓七六六氣温二三風向北西風力四

一 訓練作業 船体兵器機關手入補習教育(砲術)

二 在泊外國艦船 米驅二三七

二 情况

一 邦人婦女子ノ引揚ノ影響 支那軍連戰連勝、上海電

報ニ狂喜シ又汕報事件圓滿解決ハ支那側、大勝利ナ  
リト誤信シツアル一部民衆ハ今回、邦人婦女子引揚ケモ

支那ヲ畏レテ引揚ゲタリト益々輕侮增長、念ヲ増サシム

ルトコロアリタル模様ナルモ大部分、市民及官憲ハ日本

ニ何等カノ決意アリテ此舉ニ出タルニ非ズヤト一般ニ薄氣

味悪ガリツアル由ナリ一籍民、領事館ニ届出スル所ニ

依レバ公安局巡警ハ籍民ヲ戸別ニ訪問シ今回ノ引揚

ハ領事館ノ命令ナリヤ自發的ナリヤト聞キ歩キタリト言フ

籍民ヲ通ジテ引揚ノ真因ヲ確メントシツアルモノ、如シ

ニ市内謠言、領事館巡查ノ探知スル所ニ依レバ市内種々

ナル謠言行ハレ或ハ舢舨百隻ニ微祭命令ヲ祭シ之ニ砂石

ヲ満載シテ湾口ニ埋メ日本軍艦ノ出入ヲ不可能ナラシム

ル計畫アリトカ米國驅逐艦ヨリ大砲四門ヲ陸揚ゲシ馬

嶼附近及飛行場附近ニ配備セリトカ或ハ一千名ノヒス

トル獲帶ノ便衣隊ヲ組織中ナリトカ以テ人心高動搖シツ

分

ツアルヲ察スルニ足ル

四 發電

樞善二十三番電汕頭情報(九日樞)宛馬要司令官

邦人婦女子引揚ニ関シ市民中ニハ日本が何等カノ決意ノ下ニナセルニハ非ズヤト若干危懼ノ念ヲ抱ク者アリ官憲ニ對シ引揚ケツ領事館ノ命令ナリヤ否ヤヲ聞キ乱セリト之等ニ関聯シ市中ニ支那官憲ガ日本海軍ニ對抗スル為便衣隊ノ解散ヲ見合ハセタリトカ亞米利加海軍ヨリ砲ヲ購入セリトカ種々謠言行ハルモ市内平靜ナリ

二月十日(水)正午天候曇氣壓七六九氣温一〇風向北東風力三

一〇七三。梨入港

ニ 訓練作業 補習教育(運用)進級試験

三 在泊外國艦船 米艦ニニセ

四 情况

一 旧正月ノ為休刊中、當地新聞紙ハ本日ヨリ發行シ初メタリ紙面ハ相変ラズ支那軍大勝利ノ上海電報ヲ以テ埋

メラル

ニ 市内情况特ニ変化ナシ

五 發電

樞善二十三番電汕頭情報(十日樞)宛馬要司令官

市内変化ナシ休刊中、新聞本日ヨリ発行セラレ相斐ラズ

支那軍大勝利、上海電報ヲ以テ紙面ヲ充セリ

二月十日(木)正午天候晴氣壓七七一氣速二三風向北東風力ニ

訓練作業 満艦飾 遙拝式 進級試験 体育休業

在泊外國艦船 米艦三二七

一 侮日態度增長 當地新聞紙ハ上海事件ニ関シ連日支那

軍大勝利ノ託事ヲ載セ當地独立第二師長黃市長及各種

團體ハ舉テ戰勝ノ祝電ヲ十九路軍ニ送リツアリ、又汕報事

件圖滿解決モ支那側外交ノ勝利ナリ十九路軍ノ日本

軍撃破ト共ニ中國三十年來ノ歴史ニ特筆大書スベキ事

ナリ等書キ立テ居ル為一部民衆ノ侮日態度ハ増々增長、

氣味アリ數日來通行ノ邦人ニ投石罵言等ヲナス

者アリ又領事館ノ門標ニ糞泥ヲ塗レル者アリ不良巡警

ノ邦人ニ對シ銃劔ヲ擬シ故意ニ身体検査ヲナス者アリ皆

之ガ例證ト見ルベシ

ニ 梨來着ノ影響 昨日早朝梨當地ニ入港ス、入港後願

事ハ其旨 市政府ニ電話ヲ以テ通知セルニ市長ハ使者ヲ

領事館ニ送リテ梨入港ニ就キテ予メ通知ナカリシハ遺憾

ナリ此時局重大ノ際溢リニ軍艦ノ多数入港スル事ハ誤

14



四

着電

解ト危険トヲ惹起シ易シ日本人ノ生命財産ノ保護ニ  
 関シテハ畜市長ニ於テ完全ニ責任ヲ負フヲ以テ出来得  
 レバ一二隻ヲ出港セシムル様取計ハレ度シト抗議シ来トリ  
 領事ハ梨入港ニ関シテハ本官モ予ノ知ルトコロナカリシヲ  
 以テ貴方ニ通知スル辨ナカリシ旨答ヘタリト午後同様趣  
 旨ノ公文ヲ送り來レルヲ以テ領事モ又公文ヲ以テ返答スル  
 トコロアリ然ルニ本日又市長ヨリ領事宛公文ヲ以テ前回梨  
 ノ入港ヲ知レルニ今回知ラヌ等ナシ等反駁的抗議文ヲ送り  
 來レリト言フ。軍艦ノ來航ガ彼等ニ甚大ナル脅威ト成壓ト異  
 ヘ彼等トシテハ何トカシテ軍艦ヲ來サセ又様又碇泊軍艦ノ  
 出港スル様焦慮シツアルヲ觀取シ得

三入港時間ノ制限ト港口燈台ノ消燈 本日當地港務部長ヨ  
 リ領事館ヘ通告ニ依レバ明日ヨリ當分ノ間シユカーヤフ  
 及ゲッドホープケーブノ兩燈台ヲ消燈シ且ツ船舶ノ港口出入  
 ハ午前七時ヨリ午後五時迄ノ間ノミ許可スト之ガ理由トシ  
 テハ特別ノ事情ニ依リトアレドモ内實ハ獨立第二師長ガ對  
 日戦備ノ手段トシテ命令ヲ發シタルニ由ルト言フ。

馬要機密二十九番電十一日午後一時半發馬要司令官  
 一第二十五驅逐隊司令八十二日發部下二艦ヲ高雄ニ派遣新

五 電

乘艦者收容ノ上汕頭ニ復歸セシムベシ  
艦名及行動予定ヲ報告スベシ

(四) 馬要機密三十番電 十一日午後十一時三十分 參馬要參謀長  
高雄回航ハ竹ヲシテ之ニ當ラシメラレ 度榎ハ同艦ノ汕頭着  
後馬公ニ歸港ヲ命ゼラル、予定ナルガ榎引揚ノ為排日ヲ  
一層増長セシムルノ虞ナキヤ貴見承知シ度ク追テ新乘艦  
者ハ十二日朝高雄着

(一) 榎機密二十四番電 十一日午後六時(死馬要參謀長)

行動予定次ノ通り、本職榎ヲ率ヒ十二日午後四時半  
正午高雄着、燃料生糧品格載乘艦者收容ノ上十四日  
祭十五日午前汕頭着、予定ナルモ馬公ニ於テ石炭米類  
神成ヨリ詰類格載旁々状況報告シ度ク十四日馬公  
寄港同午後八時祭ノ事ニ出未間敷キヤ右予定燃料  
格載等ニ関シ御一報願度シ

(二) 榎善二十四番電 汕頭情報(十日榎)(死馬要司令官)

一市内特ニ変化ナキモ一部民衆ノ毎日の態度ハ益々増長  
セル觀アリ領事館ノ門標ニ糞泥ヲ塗リ通行邦人ニ投  
石惡戲罵言等ヲナス者アリ上海ノ戦捷電報及汕報  
事件解決ヲ支那側外交ノ勝利ト書キ立ル新聞紙、影

小